施設における感染対策及び感染症神戸モデルについて

神戸市健康局保健所保健課

内容

1. 感染対策を行うための3つのポイントについて
   （1）感染対策の基礎知識
   （2）必要な感染対策で感染を防止する
   （3）早期発見・早期対応ができる体制をつくる

2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-について

3. 神戸市感染症統合情報システムについて

1．感染対策を行うための3つのポイント

(1)感染対策の基礎知識

・感染のしくみ(感染成立の3要因)を知り、適切な対策を行う

(2)必要な感染対策で感染を防止する

・「標準予防策(スタンダード・プリコーション)」と「感染経路別の予防策」の基本的な対応の徹底

・平常時から病原体(感染源)を持ち込まない・持ち出さない・拡げないことを意識し感染を防止する

(3)早期発見・早期対応ができる体制をつくる

・日常の健康状態の観察と対応

・施設医との連携

・感染対策のための指針・マニュアルの整備

感染のしくみ(感染成立の3要因)について

感染源・感染経路・感受性宿主
3つの要因が重なると感染症が発症

要因の1つを取り除けば
感染が成立しない

病原体
(感染源)

ウイルス
細菌等

①病原体(感染源)の排除

体の中でウイルス等
が増殖する可能性

感染し発病

不顕性感染
(無症状病原体保有者)

ウィルスや細菌等
を体内に運ぶ経路

感受性宿主

感染経路

③宿主の抵抗力の向上

②感染経路の遮断

標準予防策(スタンダード・プリコーション)とは

感染症の有無に関わらず、全ての人に対して、血液、体液、汗を除く分泌物、排泄物、損傷した皮膚、粘膜等の湿性生体物質は、感染の可能性があるとみなして対応する方法のこと

介護分野では、**特に嘔吐物・排泄物の処理や、発疹や傷のある皮膚に触る際に注意が必要**

〈3つの例〉

1. 感染の有無にかかわらず、血液などの体液(汗を除く)は、感染性があるものとして必ず手袋を着用して触れる
2. 目・鼻・口腔内等の粘膜は必ず手袋を着用して触れる
3. 正常でない皮膚には必ず手袋を着用して触れる

介護現場における感染対策の手引き　第3版　厚生労働省老健局

感染経路

- 飛沫感染:咳やくしゃみのしぶきが体内に入る
- 空気感染(飛沫核感染):しぶきの水分がとれた病原体(核)が体内に入る
- 接触感染:手や皮膚を介して体内に入る
- 経口感染:口から消化管を介して体内に入る
- 血液感染:傷や注射針を介して体内に入る

日頃と感染症流行時の予防策

日頃の対策

標準予防策
(スタンダード・プリコーション)

基本的な感染予防策

汗を除く全ての体液、血液、分泌物、排泄物は感染の危険性があるものとして取り扱う

内　容
手指衛生、手袋、マスク、エプロンなど個人用感染防護具(PPE)の装着やケアに使用した器具の洗浄・消毒、環境対策など

＋

感染症流行時の対策

感染経路別予防策

- 空気予防策
- 飛沫予防策
- 接触予防策

標準予防策を行い、さらに以下の対応を行う

内　容
<主な病原体>結核菌、麻しんウイルス等 N95マスク　など
<主な病原体>インフルエンザウイルス等 マスク※1、ゴーグル　など
<主な病原体>ノロウイルス、疥癬等 ガウン（またはエプロン）、手袋　など

※1:原則、サージカルマスク

介護現場における感染対策の手引き　第3版　厚生労働省老健局

1ー(2)必要な感染対策で感染を防止する

飛沫感染

インフルエンザウイルス
風しんウイルス
ムンプスウイルス(おたふくかぜの原因ウイルス)
新型コロナウイルス　　など

水分をまとった病原体を含む粒子は大きくて重いので、遠くまで行かず、速く落ちる

予防策

・ケアの際には、職員はマスクを着用(原則として不織布マスク)

鼻、口、目などの粘膜を介して体内に入る

・疑われる症状のある利用者には、着用が難しい場合を除き、可能な限りマスクを着用(新型コロナウイルス感染症では症状がなくとも着用)

・原則、個室管理(やむを得ない場合は、同病者の集団隔離でもよい。患者とその他の利用者を隔離できない場合は、ベッドの間にカーテン等で仕切る等の工夫)

・居室に特殊な空調は必要なく、窓は開けたままでも可

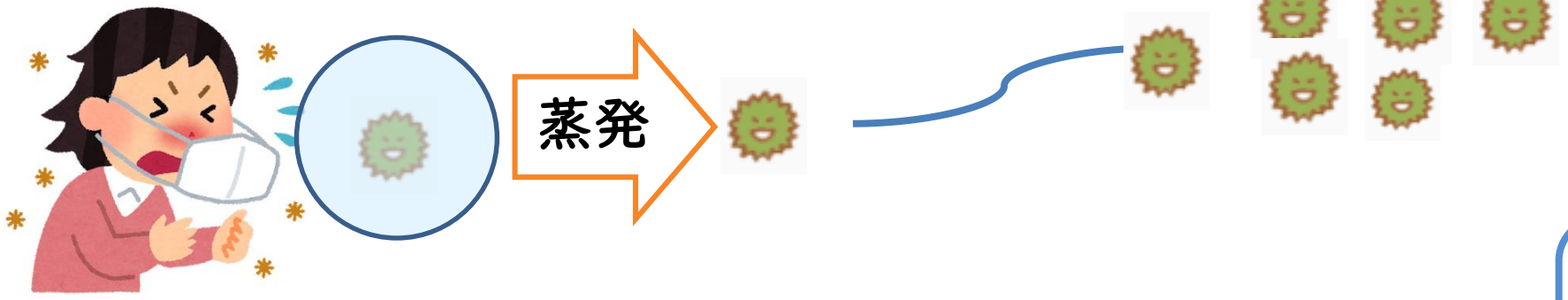
・接触感染も起こりうるため、共用設備(手すり・ドアノブ等)の消毒

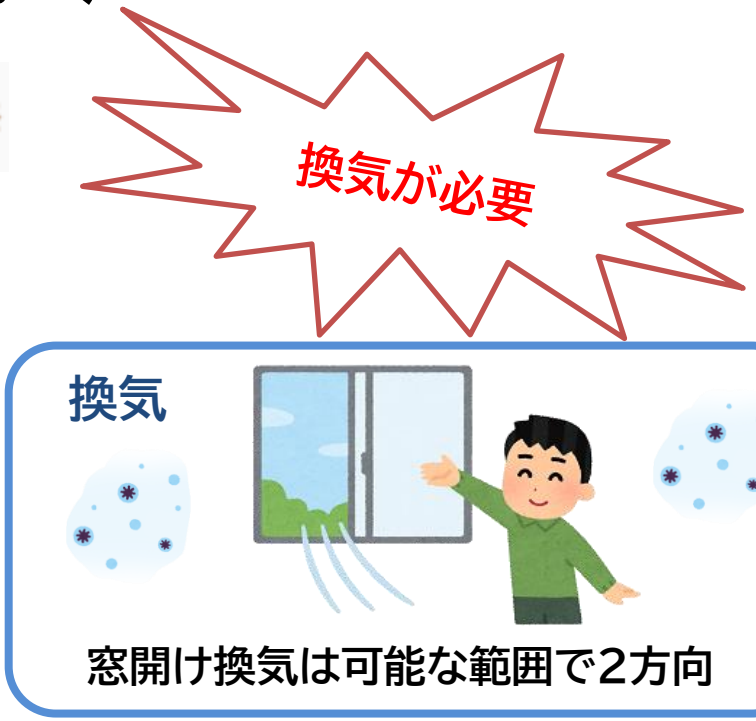
1ー(2)必要な感染対策で感染を防止する

空気感染(飛沫核感染)

結核菌
麻しんウイルス
水痘ウイルス　　など

咳やくしゃみにより、病原体が空気中に飛んでいく





予防策

- ケアの際には、職員は高性能マスク(N95等)を着用
- 可能な限り利用者は不織布マスクを着用
- 原則として、個室管理
- 十分な換気(感染者や疑いのある者の居室の廊下側ドアは閉じる)

1ー(2)必要な感染対策で感染を防止する

接触感染

ノロウイルス・疥癬(かいせん)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)・新型コロナウイルス　など

人から人へ直接・間接的に感染
最も頻度が高い感染経路

直接接触感染

握手・抱っこ・キスなど

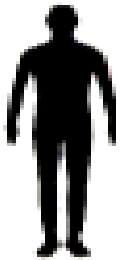
予防策

間接接触感染

感染者

ドアノブ・手すり・遊具など

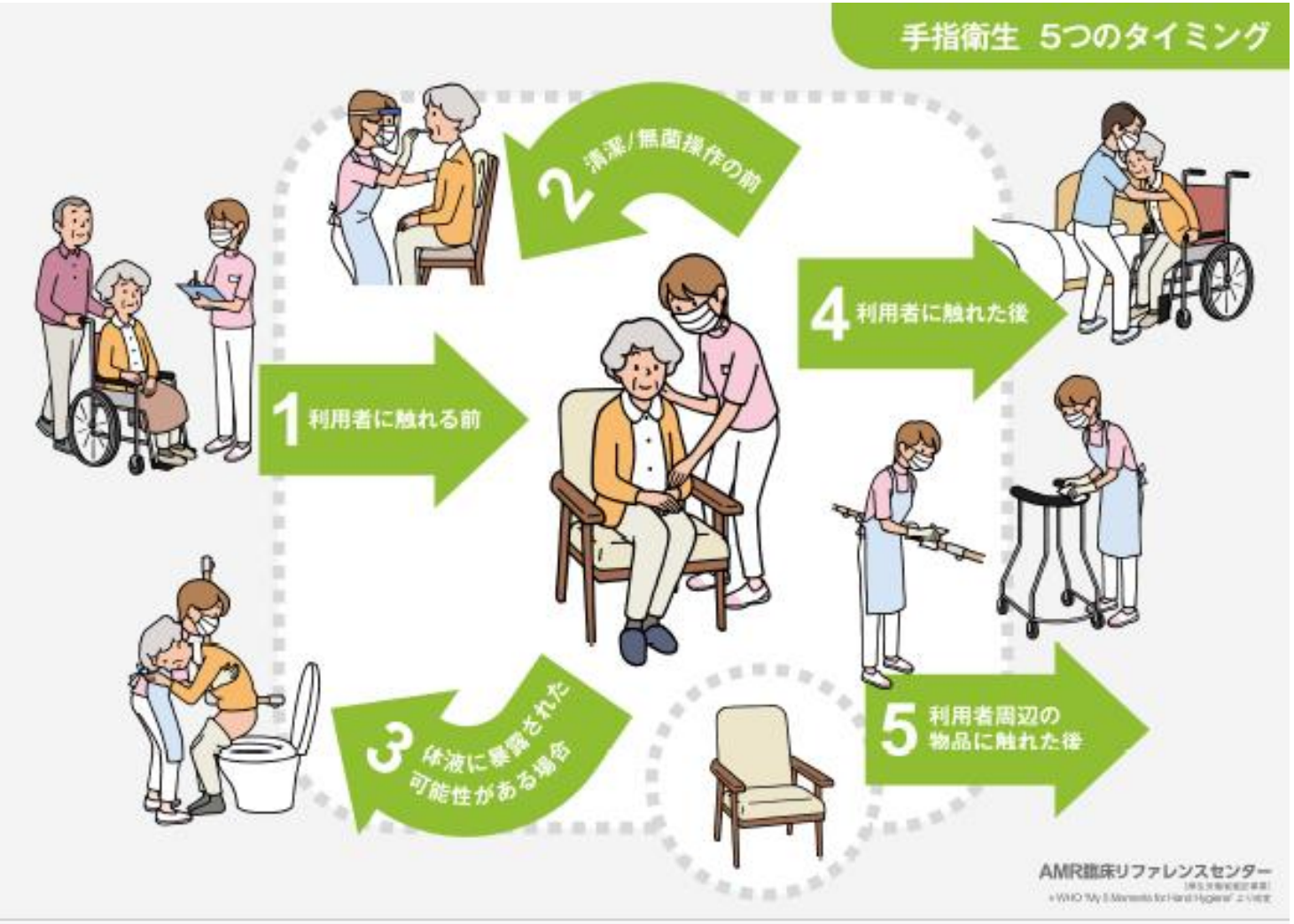
未感染者



- こまめに手洗いや手指消毒を行う
- ケア時は、手袋を着用する　使用後の手袋は速やかに捨て、脱いだ後は、手洗いや手指消毒
- 血液、嘔吐物、排泄物等を扱う場合は、長袖ガウンを着用(嘔吐物の場合は、マスクも着用)
  使用後の長袖ガウンは、速やかに捨てる
- ペーパータオルの使用が望ましい
- 共用設備(手すり・ドアノブ等)の消毒
- 利用者ごとの物品やディスポーザブル(使い捨て)の物品を使用

1－(2)必要な感染対策で感染を防止する

手指衛生の5つのタイミング



https://amr.ncgm.go.jp/pdf/AMR.FREE_DL0324_JP0523.pdf

衛生的な手洗いの注意点

洗い残しが多いところ

手のひら、しわ

爪、爪のまわり

親指のまわり

手の甲

指の間

手首

ユニセフホームページ　https://www.unicef.or.jp/news/2020/0023.html

1ー(2)必要な感染対策で感染を防止する

病原体を、①持ち込まない ②持ち出さない③拡げない

拡げない！

利用者 ⟷ 職員

持ち込まない

職員

実習生等

持ち出さない

家族等

1－(2)必要な感染対策で感染を防止する

感染症対策動画等を活用しよう

神戸市ホームページ
感染症神戸モデル　で検索

KOBE　検索

ホーム > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症神戸モデル（社会福祉施設・事業所等向け）

神戸市感染症対策動画YouTube公開中

- 【10分でわかる吐物処理】施設向け感染性胃腸炎対策動画（外部リンク
- みんなで学ぼう！施設や事業所の感染症対策動画

神戸市の感染症対策資料

- 保健師・感染症訪問指導員と一緒に感染症予防策について考えましょう（PDF：734KB）
- 日頃の手洗いをチェックしてみましょう（PDF：508KB）
- 手洗いポスター：しっかり手を洗おう（PDF：415KB）
- 施設向け　ノロウイルス感染症の対応について（PDF：730KB）
- 家庭向け　ノロウイルス感染症の対応について（PDF：437KB）
- 適切な消毒薬の選び方・使い方（PDF：757KB）
- 効果的かつ負担の少ない新型コロナウイルス感染症対策について（PDF：3,333KB）

今どき情報・耳より情報

感染症流行状況をお知らせする「今どき情報・耳より情報」のバックナンバーを掲載しています。

施設内研修や
学習に活用し
ましょう

１－（３）早期発見・早期対応の体制をつくる

感染拡大防止のために

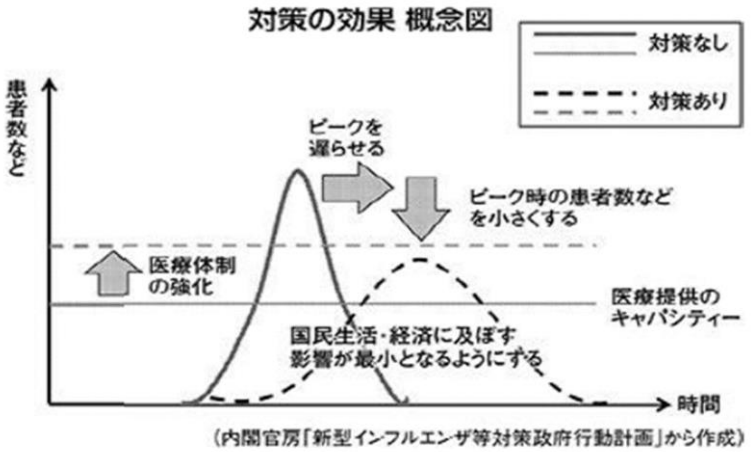
① 日常の健康状態の観察と対応

② 施設医との連携
健康管理（感染症（疑）を把握した場合は速やかに報告等）
休日や夜間の連絡体制等の確認

③ 感染対策のための指針・マニュアルの整備

④ 「感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-」
「神戸市感染症統合情報システム」

2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-



区と地域(学校・園・施設等)が連携して感染症の早期対策を目指す

2. 感染症神戸モデル-早期探知地域連携システム-

感染症（インフルエンザ含む）・食中毒疑い発生状況連絡

令和3年度から感染症神戸モデルアプリ（感染症発生状況連絡アプリ）の運用を開始しました。連絡方法がFAXからオンラインに変更しています。感染症が疑われる有症状者が1週間以内に2名以上発生した場合にご報告をお願いしています。保健センターが施設職員とともに感染症の拡大防止にむけて対策を検討します。

神戸市ホームページ
感染症神戸モデル　で検索

利用者や職員が1週間に2名以上発生した場合は、感染症神戸モデルに入力を！

感染症神戸モデルアプリにログインする（2025年2月11日以降）

- 感染症神戸モデルアプリにログインする（ログイン画面）

2025年2月11日以降、感染症神戸モデルアプリの利用は、メールアドレスによる認証（ログイン）が必要になりました。感染症の発生報告、感染症対策チェックリスト、施設情報の更新は、上記リンクより、ログインしてください。

よくあるお問い合わせ、操作方法

- 感染症神戸モデル入力用マニュアル（2025年2月11日以降）（PDF：1,544KB）
- 北/北神保健センター（PDF：219KB）
- 須磨保健センター/北須磨支所（PDF：267KB）

操作に関する問い合わせ先（社会福祉施設・事業所等向け）

お問い合わせの前に、感染症神戸モデル入力用マニュアル5ページのよくある質問をご確認ください。

- 感染症神戸モデルアプリお問い合わせフォーム
- お電話でのお問い合わせはお受けしておりません。
  正確かつ迅速に対応するため、お問い合わせフォームからお願いしております。
  ご入力いただいた情報をもとに、対応させていただきますので何卒ご理解のほどお願いいたします。

※感染症の対応についてのご相談は管轄の保健センターにご連絡ください。

3. 神戸市感染症統合情報システム

神戸市感染症統合情報システム
https://kobecity-kmss.jp

または、

神戸市ホームページ

感染症統合情報システム

と検索

3. 神戸市感染症統合情報システム

神戸市 感染症統合情報システム
- KOBE CITY INFECTION DISEASE SURVEILLANCE SYSTEM -